

# 巖 神 青

## 〔内 容〕

- ・平成二十八年度  
定時総会開催
- ・熊本地震支援物資活動
- ・護國神社清掃奉仕活動  
並に第五回役員会開催
- ・護國神社清掃奉仕活動  
並に第六回役員会開催
- ・事業頒布品頒布活動
- ・熊本地震災義援金活動
- ・天照御祖神社  
式年祭助勢活動
- ・時局対策委員会  
選挙関連活動
- ・役員インタビュー

## 平成 28 年度定時総会開催



五月十七日、岩手県神社庁二階大会議室にて、平成二十八年度岩手県神道青年会定時総会が開催された。十六時定刻に神殿拝礼の後、開会が宣言され、国歌斉唱、

敬神生活の綱領唱和と続き、菅原会長が「昨年一年間の総括と、今年度の計画を慎重審議頂きたい。また今年度は参院選、国体に関わる奉送迎活動等、皆様に協力をお願いすることも多いと思うが、ぜひ積極的にご参加を頂きたい」旨、挨拶を申し述べた。来賓挨拶では藤原庁長様から「参院選に注目しているが、改憲は正直難しいと言わざるを得ない。こちらが正論を大上段からぶつけても、野党は戦争法などのレッテル張りで、主婦層そして今回引き下げられた十八才の方々始め若い方々を取り込んでしまう。野党を「なるほど」と思わせるところから切り崩していかねければならないのではないかと考えている。アメリカ大統領選はトランプ氏の勢いがあるが、彼は自分の国は自分で守ると言う当たり前のことを言っているだけ。もしトランプ氏が大統領に就任した時のプラン

を練っておくことが日本には必要ではないか。青年会活動にはとても期待しているが、いつも同じ顔ぶれだ。一年に一度の総会だけでも出て来て酒を酌み交わす雰囲気作りが必要ではないか。楽しい青年会活動を展開して欲しい。」との挨拶を賜った。



続いて多田常任委員が議長に選出され、六、その他に神道青年全国協議会熊本地震第一次復興支援活動報告の件が追加された以外は全て原案通り拍手をもって可

決された。総会後は新入会員の紹介があり、志賀理和気神社の田村寛仁会員から挨拶を頂いた。また熊本地震の募金箱も設置され、六万円ほどの義援金が集まった。心よりの感謝を表する次第である。



菜園の「ねまる」を会場に開かれた会員懇親会では、来賓に岩手県神社庁参事新山敏彦さま、そして田中真一様を迎え、賑やかに開催された。特に田中真一さまには親しくご挨拶頂き、「私の役目は皆様からの声

を国政に届けることにある。我が国のことを一番勉強されているのは神職の皆様である。皆様に沢山意見を頂いて勉強させて頂きたい。」との御言葉を頂戴して、会員一同身の引き締まる思いであった。



護國神社清掃奉仕活動  
並びに第五回役員会開催

三月二十四日、第五回役員会と恒例の護國神社清掃

奉仕活動が行われた。清掃奉仕活動は、建物内は掃除したばかりとのこと、参道の杉葉を竹箒にて掃き清めた。



役員会においては、まず諸報告がなされ、質疑では各種慰霊祭に関して活発な意見を頂き、なかでも東北六県主催の慰霊祭に関して「年々参加者が減っている気がする。また、遺族の方に対して「まだ参拝のお済みでない方」と一括りにするのは失礼ではないか」とい

った意見や、「シャッター音が激しい。巖かさが失われるので、報道規制が必要と感じる」などの意見が出された。また、全国神青協に出向している藤原常任委員より、六月七、八日に神武天皇崩御二千六百年大祭が斎行される予定になっており、各単位会から一名奉仕していただくことになり、希望者を募っている旨の連絡があった。参列は何人でも良いとのことなので、会員にはこの貴重な機会を活かして頂きたい。

協議事項では主に、今年当番県に当たっている六県親睦事業の内容について意見が交わされた。小野書記より、フットサル・インディアカ・タグラグビー・スローピッチソフトボールが、谷藤書記からはカーリング・スケートが提案され、各種スポーツの道具なども実際に触れることが出来たり、会場へのアクセスの良さをアピールするなど、両者

一步も譲らぬ熱いプレゼン合戦となったが、最終的には多数決にてインディアカに決まった。



また、岩手国体にあたり御皇室の御奉迎活動に関しては、提灯行列やパレードなどは県庁所在地と開会式開催地、そして宿泊地が全部異なるという点などを鑑みて現実的ではないとの説明がなされ、国旗小旗頒布活動をメインに行うことで議決された。十月一日からの開催期間中、県内のどこ

かでは常に奉迎活動が行われることを考えると、会員の皆様にはご負担をお掛けすることになると思うが、是非万難を排してご協力願いたいとのことであった。役員会終了後は菜園の「うし亭」で懇親会が開催された。



和風のポトフやサラダ、ステーキ、甘いタレをかためた魚料理などを頬張っている、伊藤顧問より、菅原しずか地区委員と結婚する旨報告があり、ビッグカプルの誕生に会場は一気

に御祝いムードに包まれた。会場からは、なれそめを教えて欲しいなどの質問が飛び交いヒートアップしたが、聞くこと能わずであった。六月十八日の披露宴や二次会の様子は次回の巖神青にて報告出来ればと思う。また、鈴木常任委員からは、建築中の自宅が晴れて上棟を迎えることとなり、三月二十六日午前十一時半より餅蒔きを開催するとの報告があった。お祝い事が二つも重なり、近年まれに見るおめでたい懇親会となった。

**熊本地震支援物資活動**

四月二十日午前九時半より、一関八幡神社社務所において熊本地震への支援物資の発送作業にあたった。

岩手県神社庁、岩手県神道青年会より飲料水を始め生理用品、カップ麺等を有限会社ウインサムトランスポート様の九州便のトラッ

クへ左記の物資の積み込み作業をおこない十三時十五分に出発した。  
 支援物資受け入れ先の福岡県久留米市の水天宮には二十二日午前九時に無事到着したとの報告があった。



護國神社清掃奉仕活動  
 並びに第六回役員会開催

四月二十四日、第六回役員会並びに岩手護國神社の清掃奉仕活動が行われた。すっきり恒例となった清

掃奉仕では、桜花爛漫の晴れやかな春晴れのもと草取り作業を行った。やはり護國神社には桜がよく似合う。一年間の清掃奉仕に英霊がお応え頂いたような天候に



感激しつつの奉仕作業であった。役員会では報告事項において、東北六県役員会の結果禊錬成会が六月十五日（十六日）の日程で、また親睦事業が十月二十五日（二十六日）の日程で行われることになったこと、また先

般の熊本地震物資支援活動について、お預かりした物資が二十二日に無事水天宮に搬入されたことなどが報告された。協議事項に於いては主に来たる五月十七日に開催される定時総会の資料の精査が行われ、活発な質疑、訂正案等が出され、より質の高い総会資料とすることができた。また親子禊についても協議が行われ、まだ開催したことがない支部での開催を目指すことで意見の一致を見た。その他においては、通信費の削減を見込んで、今現在役員のみメールアドレスにて各種案内を送付していたものを、会員にまで拡大して行いたい旨提案があり、各地区委員に会員のメールアドレスを収集するようお願いがあった。各委員会からは、事業委員会からは事業頒布品の未収金があるとの報告があり、事業委員だけではなく会全体として回収作業を進めていくとの結論

に達した。広報委員会からは五月中をめどにホームページ



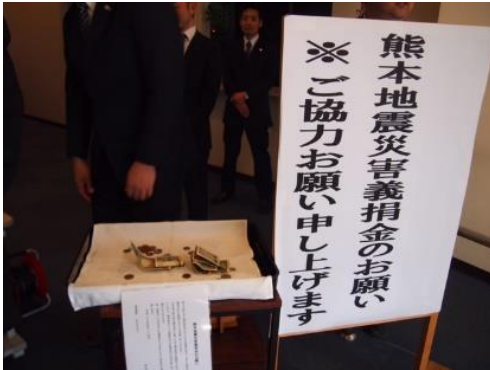
ージ所有神社へ、青年会用への掲載の可否並びに相互リンクのお願い状を発送する予定であるとの報告があり、また、役員インタビューへのご協力についてお願いがあった。時局対策委員会からは、今夏の参院選にむけて、田中真一氏からゴールデンウィーク明けより活動を開始するとの連絡を頂いた旨報告があり、最初の

事業頒布品頒布活動



活動として事務所の移転引  
つ越し活動を予定している  
とのことであった。  
懇親会は菜園の「ゆ家」で  
行われ、満開の桜へ思いを  
馳せつつ、今が旬の行者ニ  
ンクやわらびの天ぷらの  
サクツとした食感と山菜特  
有のほろ苦さにほっぺたが  
落ちそうになりながらビー  
ルを流し込み、その後に出  
された刺身や鶏肉料理など  
にも舌鼓を打ちながら参加  
者一同大いに懇親を深め合  
った。

熊本地震災義援金活動



四月二十五日、盛岡八幡  
宮参集殿にて開催された教  
養研修会において、事業頒  
布品の頒布活動を行った。  
四月二十五日の教養研修  
会並びに五月十七日の総会  
時に、熊本地震の義援金募  
金活動を行った。一日も早  
い復興をご祈念申し上げる  
次第である。

大震災復興支援活動  
天照御祖神社式年祭助勢



六月四日、東日本大震災  
復興支援活動として、大船  
渡市三陸町鎮座「天照御祖  
神社（熊谷憲治宮司）」の式  
年祭助勢活動を行った。  
小田島地区委員、駒形地  
区委員、小野寺事務局長、岩  
山会員の参加のもと、発興  
祭、神輿渡御、御旅所祭、還  
幸祭をご奉仕した。

五年毎に行われている式  
年大祭、前回は震災の年で  
少し規模を縮小し行なわれ

時局対策委員会  
選挙関連活動



たそうだが、今回は御輿渡  
御の行列も一五〇人ほどと  
なり、震災前のように盛大  
なお祭りになったとのこと  
であった。  
五月十三日選挙について  
の勉強会並びに懇親会が奥  
州市水沢区の「酒と肴の店  
味川」において、藤原崇衆議  
院議員様、駒形神社宮司山  
下明様のご来席の下、開催  
された。

五月十九、二十六、二十七日には、田中真一氏の事務所移転作業・リーフレット折り・事務所片付け・為書き揭示作業などの助勢活動を行った。

# 新役員 インタビュー

【項目】①名前②役職③所属支部④奉務神社⑤独身⑥既婚⑦趣味⑧好きな芸能人やアーティスト⑨休日の過ごし方⑩神明奉仕にあたって心がけていること⑪影響を受けた本⑫座右の銘⑬あなたにとってズバリ神道とは？⑭青年会に期待すること⑮こんな活動がしたい！⑯役職就任にあたり抱負を一言

- ▼①田村清子(たむらさやこ)
- ②常任委員③紫波支部④志賀理和気神社⑤独身 父・

母・妹・弟⑥観察⑦阿部サダヲさん⑧何もしないで過ごす⑨最善を尽くす⑩『幸福な王子(オスカー・ワイルド)』⑪足るを知る⑫道⑬青年会卒業後につながる関係を築いていけるような会だといいです⑭親睦事業⑮至らないことだらけですが頑張ります

◀①熊谷政秀(くまがいまさひで)②地区委員③盛岡市支部④熊野神社⑤既婚(長女)⑥模索中⑦ザンオールスターズ⑧雑事の処理⑨心を込めて丁寧⑩重松清全般⑪至誠天に通ず⑫神様に恥じない行動を常に考える⑬一致団結⑭色々な分野の方々との交流⑮微力ながら頑張ります

- ◀①花輪宗嗣(はなわむねつぐ)②地区委員③上閉伊支部④鶴住神社⑤既婚・子供二人⑥釣り⑦、⑧無記入⑨心⑩、

⑪、⑫、⑬、⑭無記入⑮縁の下の力持ちになれるよう頑張ります

※役員の皆様にはインタビューの提出にご協力をお願いいたします！

祝ご結婚！

伊藤 幸夫 顧問  
しずか 地区委員

郡山 宗臣 会員  
ひとみ 夫人

祝ご誕生！

菅原政憲会長・史穂子常任委員夫妻

長男 政陽(まさはる)君

【編集後記】  
まずもって、四月十四日以降群発している熊本地震の犠牲者に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われました方々にお見舞い申し上げます。

東日本大震災では沢山の支援を頂いた当県です。記事中の支援助金の送付活動や義援金活動を通して、一日も早い復旧復興に貢献できれば幸いに存じます。それにしても、自然災害の猛威は人間の賢しらの及ばぬものと知っていながら、やはり改めて痛感せざるを得ません。自然との共生をうたう神道こそが、活動期に入った日本列島に住む我々自身を救うことができると信じています(宜)

発行 岩手県神道青年会  
住所 一関市釣山一九 八幡神社社務所内  
電話・FAX 〇一九一―二三―二九〇六